みんなの文芸

短歌

根岸茉莉選

ひとゝせを思い返しつ障子張る

皆野　萩原　初恵

(評)お正月を迎える準備の一つに障子張りがあります。手間のかかる仕事ですが、作者は今年一年の楽しかった事、苦労したことなどあれこれ思い、感慨に耽りながら丁寧に張ったことでしょう。真っ白になった障子に柔らかな冬日。気分爽快でよい年が迎えられそうです。二句目、「陣取り」とはここでは賜の縄張り争いのことです。秋晴れの澄んだ大気の中、鋭い声で鳴く賜は縄張りを主張するためなのだそうです。長いこと鳴き合っているのを聞きながら、うまく折合いが着くだろうかと気を揉んでいる優しい作者です。三句目、秋めいて爽やかな朝。植えたばかりの花達に癒やされている作者。心も土も潤います。

陣取りの折り合いつくや賜高音　三沢　眞下　杏子

花植えてうるおい生まる秋の朝　皆野　新井　ちか

背に受くる初冬の朝日詠歌の座　三沢　新井　民子

紅葉の谷間は深し奥秩父　三沢　横田　龍雲

石積の鐘楼跡や萩の寺　上日野沢　四方田利男

コロナ禍に終活のこと星月夜　皆野　豊田喜美恵

芋飯で貧しき昔思い出す　皆野　村田ハツ代

迷い込む蟷螂そっと日溜まりに　下日野沢　浅見　豊子

小走りに靴音過ぐる秋の暮　皆野　引間　千鶴

秋澄んで教卓の上琵琶法師　皆野中二年　太幡琉美花

冬温し義父の遺影に手を合わす　皆野中　小菅恭青史

コロナ禍で自粛三密年の果　皆野　根岸　詩子

鴉来て無心に突く熟柿かな　下田野　新井　節子

三密に前向き思考秋果てる　三沢　新井　叶子

葉を捥ぎて熟れよと急かす晩生小豆日照不足の秋深みゆく　三沢　眞下　杏子

大正の後にも人の鬼となり鬼と見做せし戦争のあり　皆野　打木　昭廣

諸人の絆と友情を贈りつ多難なる一と年無事去らむとす　三沢　新井　叶子

フィクションとドラマだからと思へども俺もやりたい1000倍返し　皆野　石原　達也

秋晴れに我が子と登る美の山の道にころがる秋を探して　皆野　大澤　貴夫

命日の姑にワインを供えくれ娘は思い出を語りて帰る　下日野沢　浅見　豊子

幾度も発作に堪えて老犬は現実逃避の我を諌める　皆野　豊田喜美恵

野も山も紅葉となり霜月と我は寂しく成にけり　三沢　横田　龍雲

多難なる世に菅内閣誕生す九十九代の世相や如何に　皆野　根岸　詩子

放映の尾瀬の歩荷は山小屋へ着きたる時に笑顔見せしと　三沢　新井　民子

さつま芋長き蔓らが絡み付き引き抜く子らの嬉しき声や　皆野　村田ハツ代

深海のスミスリフトの玄武岩ひとつで分かる地球の科学　皆野中　太幡琉美花

夜遊びの猫に玄関開けやれば冷えた体に草の実付けて　下田野　新井　節子

山里に伝え続きぬ獅子舞も祭も中止コロナ禍不安　上日野沢　四方田利男

山ぶどう熟し実ひとつ口に入れ妹と語りし山路を歩む　国神　藤原マキ子

隣人の届けてくれし渋皮煮手間かかりたる達人の技　皆野　萩原　初恵

泣き出したみいちゃん生後三ヶ月ちいちゃん三さい授乳補助員　皆野　引間　万亀

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。

3日必着　**1人1句、1首**に限ります。

今月の題字

三沢小3年　小池　結奈さん

児童の見守り放送

国神小6年　辻　葵さん

1歳のお誕生日おめでとう

日向ちゃん

下原区　長島　浩太さん　裕子さん

スペシャルな毎日をありがとう！
のびのび元気に大きくなってね♡

碧人くん

下大浜区　櫻井　正章さん　枝利さん

ニコニコ笑顔で活発なあおとくん。
これからも元気に育ってね！

※満1歳の赤ちゃんを募集します。1月号の締め切りは、12月10日(木)まで。ホームページからも応募できます。